

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第50週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第50週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第50週（令和4年12月12日から令和4年12月18日まで）

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.86人と前週（7.16人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.64人と前週（0.46人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.46人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“インフルエンザが3年ぶりに流行期に入りました！”について取り上げました。

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和4年第50週（12月12日～12月18日）に1.64人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始の目安である1.00人を超えました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は10月頃から報告数が増加しています。

今後、インフルエンザの感染拡大が予測されるため、川崎市では、高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を令和5年1月31日まで延長しています。早めの接種を御検討ください。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

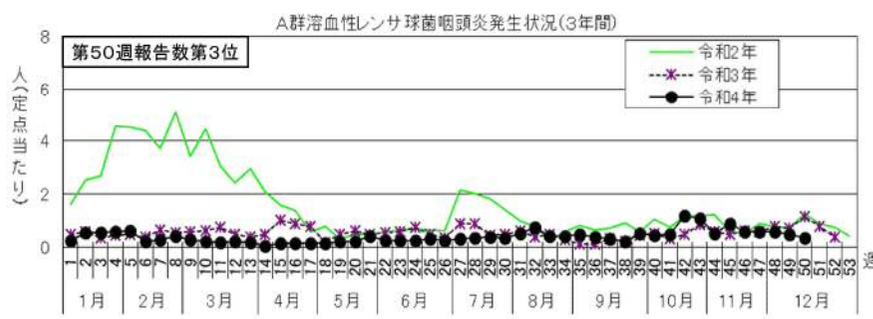
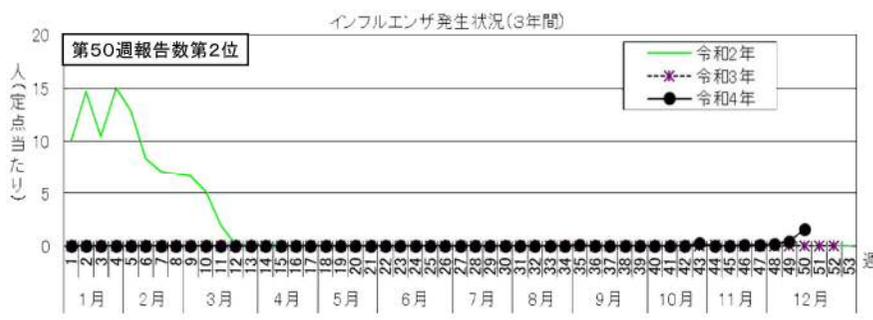
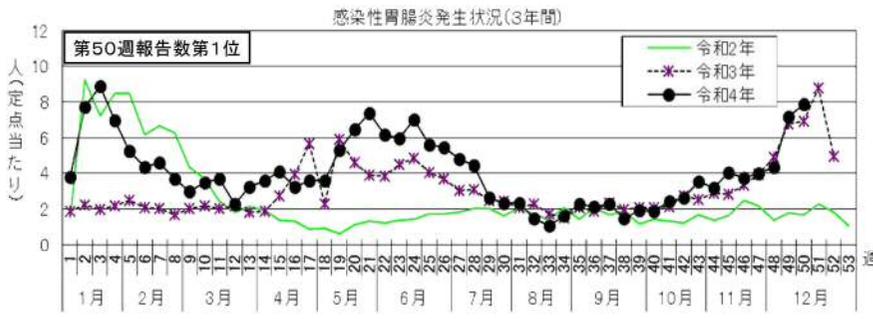
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年12月12日（月）～令和4年12月18日（日）〔令和4年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.86人と前週（7.16人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は1.64人と前週（0.46人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.46人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

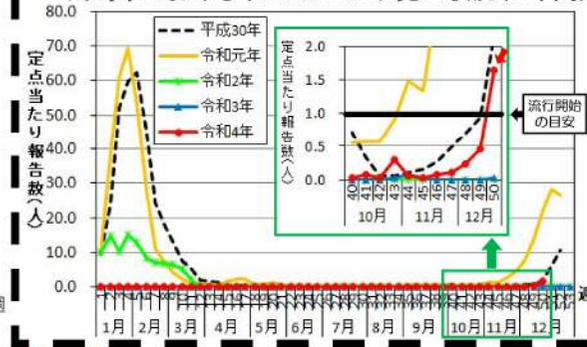


インフルエンザが3年ぶりに流行期に入りました！

川崎市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は、令和4年第50週（12月12日～12月18日）に1.64人となり、令和元年以来3年ぶりに流行開始の目安である1.00人を超えました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、インフルエンザの報告数は激減していましたが、今年は10月頃から報告数が増加しています。

今後、インフルエンザの感染拡大が予測されるため、川崎市では、高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種を令和5年1月31日まで延長しています。早めの接種を御検討ください。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(5年間)



高齢者を対象とした定期的インフルエンザ予防接種

◆対象者

川崎市内に住民登録があり、接種を受ける御本人が接種を希望している方のうち、次の①又は②にあてはまる方

- ①令和4年12月31日時点で65歳以上の方
- ②令和4年12月31日時点で60歳～65歳未満の方で
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

◆実施期間と回数

令和4年10月1日～令和5年1月31日の間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関
 （市が指定した市内約680か所の医療機関）

◆自己負担額

無料